

村松 尚 議員

地球温暖化対策を

Q 問 公用車の省エネ車への転換を図ったらどうか。

A 答 現在ハイブリッド車5台を保有。公用車は、極力、軽自動車へ買いかえている。今後とも低燃費車や低排出ガス対応車を購入するとともに、アイドリングストップなどソフト面にも力を入れ、地球環境に配慮した取り組みを進める。

Q 問 家庭での電球形蛍光灯の普及の考えはどうか。

A 答 値段が高いのが欠点だが、省エネ対策に非常に効果があるので、他の省エネルギー機器とあわせ、広報紙等を通じて各家庭への普及啓発に努めたい。

外国人の子供への 言葉習得のための支援を

Q 問 市内在住の外国人の児童生徒に、日本語、母国語を指導する施設に対して補助を考えたかどうか。

A 答 NPO法人が行っている放課後日本語支援教室は、独立行政法人福祉医療機構の助成を今年度限りで受けている。次年度以降は市の協働まちづくり事業の制度を活用いただければと考える。



愛野地区のブラジル人学校

竹原 和義 議員

原野谷川堤防有効活用の考えは

Q 問 湊川井線の渋滞緩和のため、諸井新屋から松袋井に架かっていたもぐり橋を再構築してはどうか。

A 答 提案の橋を新設し、国道150号線から彦島、さらに小山インターに通じる新たな南北道路を構築する計画は、現時点ではない。今後、交通実態調査等をもとに広域的な道路網を計画する中で、必要性を検討したい。

市民と協働の提案制度は

Q 問 「市政の主人公は市民」の実現のため「(仮称)夢・市民の協働事業提案制度」を提案する。

A 答 本市の協働まちづくり事業は、本年度から本格的な取り組みを始めたところ。今後、先進地を参考にすることで、制度内容の充実を図りたい。

きざん 川村驥山生誕の地として

Q 問 「川村驥山、生誕125年」歴史資料記念館建設計画の考えはどうか。

A 答 今後も、書文化の振興の一環として、川村驥山先生の顕彰に努め、本市ゆかりの文化人を顕彰する郷土資料館等のあり方についても、この提案を今後の貴重な意見として参考にしたい。

書道界で初めて日本芸術院賞を受賞するなど、書の第一人者として活躍した市内村松出身の書家。



諸井新屋と松袋井を結んでいた「もぐり橋」跡地